

HALLI GALLI Extreme

ハリガリ・エクストリーム

人数：2～6人 年齢：6才から 時間：約20分
 セット内容 カード：72枚(果物64枚・サル3枚・ゾウ3枚・ブタ2枚)、ベル：1個

ゲームのアイデア

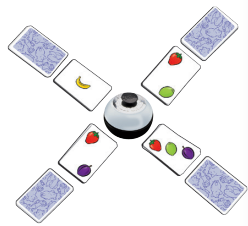
ゾウ、サル、ブタが果物を求めて森の中を探し回っています。みんなで手伝ってあげよう！
 順番に手持ちカードを1枚ずつ場に出し、全く同じ果物カードが2枚、もしくは動物と大好物の果物が出たら素早くベルを鳴らします。
 最初にベルを鳴らしたプレイヤーが場のカードを全て獲得できます。
 一番多くのカードを集めたプレイヤーがゲームの勝者です。

ゲームの準備

ベルをみんなの手が届きやすいように机の真ん中に置きます。机の表面を傷めないように、布やフェルトなどをベルの下に置いて下さい。カードを配るプレイヤーを決め、その人はカードをよく混ぜて裏向きで各プレイヤーに1枚ずつ全てのカードを配りまします。(プレイする人数により配られる枚数が異なる場合がありますが、そのまま続けて下さい。)各プレイヤーは配られたカードを再度よく混ぜ、見ずに裏向きのまま山にして自分の前に置きます。
 時計や指輪などは、けがをしないように外しておきましょう。

遊び方

最年少のプレイヤーから始め、時計回りに順番を交代していきます。
 順番が来たら手持ちカードの山から一番上のカードを1枚めくり、表向きにして場に置きます。2巡目以降は既に置いたカードの上に重ねて置き、常に一番新しい1枚だけが見えるようにします。



カードのめくり方

自分だけが有利になることを防ぐ為に、カードを手前に向けてめくるのではなく、右の図のように自分より遠い方からめくります。この動作が早いほど、自分も早くカードの絵を見ることが出来ます。



ベルを鳴らすことができるのは？

バナナ・ブラム・イチゴ・ライムが、様々な組み合わせで描かれた果物カードとゾウ・サル・ブタが描かれた動物カードがあります。場のカードが次の4つのいずれかの時にベルを鳴らすことができます。

- 1) 全く同じ果物カードが2枚になった時。
- 2) ゾウとイチゴ以外の果物カードの時。
- 3) サルとライム以外の果物カードの時。
- 4) ブタが出た時。

反射神経が求められています！
 いち早く気づき、最初にベルを鳴らしたプレイヤーが場に出ている表向きのカードを全て獲得できます。獲得したカードは裏向きにして自分の手持ちカードの山の下の下に加えます。次のラウンドはそのプレイヤーから始めます。
注意：各プレイヤーは、手をベルに近い位置ではなく自分の手持ちカードの山の横に置きましょう。

ベルを鳴らしてはいけない場合があります！
 まったく同じ果物カードが無い場合や、ある動物とその動物が好きではない果物カードがある場合には、ベルを鳴らしてはいけません。

- 1) 全く同じ果物カードが無い時。
- 2) ゾウがいて、イチゴもある時。
 ゾウはイチゴが好きではありません。
- 3) サルがいて、ライムもある時。
 サルはライムが好きではありません。
- 4) ゾウとサルがいて、イチゴとライムがある時も鳴らしてはなりません。

注意：ベルを鳴らす組み合わせと、鳴らしてはいけない組み合わせが混在する場合があります。その場合は、ベルを鳴らしてはなりません。例えば、サルとライムがあり、全く同じ果物カードもある場合です。この時は、ベルを鳴らしてはいけません。また、ゾウとイチゴがあり、ブタもある場合も、ベルを鳴らしてはいけません。

間違えてベルを鳴らしてしまったら
 間違えて鳴らしたプレイヤーは、右図のように自分の場に出したカードの山をベルの下に置き、左隣のプレイヤーと順番を交代します。他のプレイヤーの場の山はそのままにしておきます。そのラウンドの勝者は、場に出ているカードだけでなく、ベルの下にあるカードも全て獲得できます。



例外：間違えて鳴らしたプレイヤーが、そのラウンドを勝利した場合は、自分の場の山とベルの下にあるカードのみ獲得することができます。他のプレイヤーの場に出ているカード山はそのままにしておきます。

手持ちカードがなくなったら
 手持ちカードが1枚もなくなったプレイヤーは、その時点でゲームから退きます。そのプレイヤーの場の山は、ラウンドの勝者が獲得できます。
注意：連続して2回間違えてベルを鳴らした場合も、ゲームから退きます。そのプレイヤーの手持ちカードは全てベルの下に置きます。

ゲームの終了

プレイヤーが残り2名になり、その時点で残っている場のカードをどちらかが獲得した時にゲームは終了します。ただし、特別ルールとしてどちらかが間違えてベルを鳴らしてしまうと、相手プレイヤーが場のカードを全て獲得して、ゲーム終了となります。一番多くの手持ちカードを持っているプレイヤーがゲームの勝者です。もしどちらかが全てのカードを獲得するまで続けたい場合は、そのまま続行してもかまいません。